

のご質問で答弁したとおりですが、世界の記憶については非公開で審査されています。申請も開で審査されています。申請も日本ユネスコ国内委員会を通じて申請をしています。そこを通じていろいろな情報は収集できれば考えますという答弁をさせていただきますましたので、そのように進めさせていただきますかと思っています。

### 人道教育の啓発のため劇を続ける考えは

**問** 11月25日にファミリーセンターで開催された「ひびきあい集会」の「イエフダーと七つの灯」に大変感動した。子供たちにも人道教育のよい体験ができ、すばらしい行事であったと思っている。こういったすばらしい人道教育の啓発について

ての劇を続けてほしいと思うが、教育長の考えを伺う。

### 答 (堀部教育長)

現在、町内の小中学校において、子供に人権感覚を身につけさせ、思いやりの心を育てるために、人道教育を推進しているところでは、

その一つとして、八百津小学校では5・6年生の子供が杉原千畝氏を取り上げ、創作劇「イエフダーと七つの灯」に取り組み上演をしているところです。このことを通して子供たちに「人権の大切さ」を考えさせることが一つ、そして見ていただく方にも「命の尊さ」や「人を思いやることの大切さ」等を伝えていきたいという願いがあります。

私はとても値打ちある取り組みであると考えますので、今後もしっかりと続けていきたいと思っております。

## Q2 地方自治の今後の取り組み方について

### 特別チームで取り組み考えは

**問** 11月18日、NHKの番組「地域づくりアーカイブス」で、人口減少問題、地域活性化問題を取り上げていた。島根県

島南町で人口1万足らずの町である。この会議には京都大学の広井教授外2名が参画され、1%戦略を提案されていた。「人

口の1%の増加で町の活性化は図れます」と提言をされていた。島南町は、この政策に町長が先頭に立ち実行している。休耕地に蕎麦を栽培して、蕎麦店を開

設し、雇用の増進を進め、若い家族の移住も増え、医療費の無料化、住宅費の補助、職業のあつせん等を応援している。講師の先生方は、「これからはむしろ都市の問題が起きてくる。東京、大阪、名古屋では、老朽化と介護の問題で都市は難しい時代を迎える」と言われていた。

研究と努力によって成功している町もあるので、島南町の例も参考になると思う。コンピューターの時代なので、こうしたコンピューターで検索し、特別チームで取り組んでもらいたいと思うが、考えを伺う。

### 答 (堀部副町長)

八百津町においては、本年3月に第5次八百津町総合計画を策定し、将来像実現のための4つの基本目標を掲げ、現状と課題を分析し、基本方針や取り組みべき主要施策を定め、可能なものについては数値目標を上げ、実施計画をもとに目標達成に向け取り組んでいます。

特別チームを立ち上げてはどうかのご意見ですが、当町では町政の基本方針及び重要施策について審議し、総合的な調整を行うとともに、計画的かつ効果的な推進を図るため、町長を

はじめとする特別職と各課長、防災安全室長で組織します総合政策推進会議を組織し、必要に応じ審議する体制が整っています。重要事業の企画立案や政策課題の調整などについては、今後この推進会議で議論を重ねていきたいと考えています。

人口減少問題については、昨年4月より地域振興課に専任職員を置き、移住・定住策にも取り組んでいるところです。先ほど地域振興課長からも報告がありました。平成27年には4世帯13名、平成28年には9世帯19名、本年は現在まで9世帯29名、合計で22世帯61名の皆さんに空き家バンクを利用して移住していただいております。問い合わせも数多くあり、今後も増加の見込みとなっております。

島根県の実例をご紹介いただきましたが、議員ご指摘のとおり、先進事例も調査・研究し、今後、八百津町独自の施策なども可能な範囲で考えていきたいと思っております。

### 情熱をもって定住促進を

**問** この島根県の町のことを考えると、普通のところでは、若い定住者の移住のことを

考え、「医療費を無料にする」「住宅をあっせんする」これはどこの町村もやっているが、島根県の町はその次に「家賃を補

助する」もう一つは「職業を町長みずからがあっせんする」とまでやっている。他町村ではできないことを行い、大変効果を上げていくということ。NHKが取り上げたのです。

もう一つは、長野県川上村で、これも100人足らずの人口だが、町長が先頭になって人口を増やしているという例もある。

地域おこし協力隊は今4000人いるそうだが、卒業した人は2000人である。その2000人の中で6割が定住し、その町や村に残っているという結果が出ていくわけであり、町の熱意によってそうした人たちは残るので、私は情熱を持ってもう少しこのように当たってもらいたいと思うが、考えを伺う。

### 答 (金子町長)

町長みずから職業のあっせんをと言われましたが、私もやっておりますし、地域おこし協力隊についてもいい関係を取り持ち、定住していただけるよう職員との交流など、どんどん進めていっていただきたいと思っております。人間関係というのは、議員ご承知のとおり大変難しく、そういったものを乗り越えて定住をしていただけたらということは何とかお願いしながら、八百津町に残っていただけたらという方向で進めていきたいと考えています。



「イエフダーと七つの灯」 (11/3(金))